

<「知るっば!久留米」 令和4年1月27日(木) 12:30~放送分>

おいでよ、地場産くるめ! ~第4回~ 「おすすめの特産品」など

<ゲスト: 地場産くるめ 事務局長 古賀 友理子さん>

坂本 MC (以下「坂本」)

「知るっば久留米」ナビゲーターの坂本豊信です。

今回は、ぜひ行っていただきたい場所!ということで

『おいでよ、地場産くるめ!』をテーマにお送りしています。ゲストはこの方です。

ゲスト: 古賀さん(以下「古賀」)

こんにちは!地場産くるめで事務局長をしている古賀友理子です。

よろしくお願いします。

坂本 いやいよシリーズ最終回となりました。

今回は、『おすすめの特産品』『くるっばグッズ』『今後のイベント情報』というテーマでお送りします。

最初の回で地場産くるめの店舗が3店舗あるというお話を聞きました。

それぞれ取り扱っている商品に特徴などありますか?

古賀 東合川店は、売り場面積が一番広く、無料の大駐車場も完備しているので、

じっくりと品定めをしてお買い物をされる方が多いです。

ギフト商品や記念品をお求めになることもよくあって、お中元やお歳暮、父の日や母の日、
子どもの日等のイベントに合わせたセット商品の提案をしています。

坂本 やっぱ基本は東合川店みたいなことでしょうか。

番組の打ち合わせで行きましたが、やっぱり商品の幅が広く、品ぞろえも豊富ですね。

古賀 特に、久留米緋の新商品も数多くありますので、

「こんな商品もあるのね～」と目的以外のものをご購入されることもあります。

皆さん、割と時間をかけてお買い物を楽しんでいただいています。

坂本 久留米緋以外におすすめの商品はありますか?

古賀 おすすめの商品は、「久留米織(くるめおり)」という商品です。

パツと見は緋に見えますが、糸の組み合わせで造られた緋風の織物になります。

もともと、「綿入れはんてん」を作っていた会社が「夏場も売れる商品を」と、

はんてん生地を使ったモンペやエプロン、チュニックなどを作り始めたのがきっかけです。

お値段もお手頃で、気軽に着ていただける商品です。

今の季節ですと、「はんてんを着て、こたつに入って、おつまみを食べながら日本酒や焼酎を飲む!」まさに日本の冬の風物詩ですね。(笑)

これ全部、地場産くるめで揃えることができるんですよ。

坂本 ああー、なかなか良い感じですね。

久留米織のはんてんを羽織って、お酒やおつまみを楽しんでいただきたいなと思いますね。

ところで、私は広報戦略課に今いるんですが、

この課は市イメージキャラクター「くるっば」の担当でもあります。

実は地場産久留米では、くるっばグッズの販売でもお世話になっていますよね。

古賀 各店舗でくるっばグッズのコーナーを作っていて、

クリアファイル、タオル、キーホルダー、缶バッジなどを取りそろえています。

くるっばがプリントされたTシャツは、赤ちゃん用からLLサイズまであります。

「くるっばのマスコット」やくるっばのイラストをパッケージに使っている「くるめんべい」などが人気の商品です。

そうそう、忘れてはいけないのが「くるっばのぬいぐるみ」。

こちらは、幅広い年齢層の皆さまから人気があります。

坂本 いつもお世話になっておりまして、ありがとうございます。

実は私、農政部にもいたんですけど、「くるっば」と「めんべい」のコラボ商品を手がけました。

今でも人気みたいですね。

古賀 「くるめんべい」ですよ。明太子が入った辛口のお菓子で、

果物の柿のペーストが練りこまれています。お酒のおつまみにはもってこいの商品です。

お菓子でほかにご紹介したいのは、くるっばの形をした最中(もなか)の「ほとめくるっば」とか、

ホワイトチョコとハ女茶のシュークリーム「くるっばのたまご」などがございます。

雑貨では「くるっばスポンジ」や「くるっばが先っぽについた耳かき」、「布バッグ」、「タンブラー」、「ピンバッジ」などなど、紹介しつくせない程たくさんあります。

お好きなものを組み合わせて、くるっばセットとしてギフトボックスに詰めてもかわいいですよ。

坂本 毎週度々出てくる、「セットにする」「自由な組み合わせ」ができるってうれしいですね。

単独の店ではできないですからね。

古賀 ご予算に応じたお菓子のオリジナル詰め合わせや、お酒やラーメンの食べ比べセット。

また、お菓子とお茶のセットや日本酒とおつまみのセット等、さまざまな地元事業者の商品を

少しずつ組み合わせたギフトセットをご提案することができるのも地場産くるめの強みであり、事業者支援の一環となっています。

坂本 私は徒歩で、毎日職場に通っていてJR店の前を通るんですけど、いつも野菜とか果物、ツバキの苗とかよく揃ってますよね。

古賀 JR店は3店舗の中で一番レジ通過者が多いです。
店先に地元農家の方が作られた新鮮野菜を販売しているので、気軽にお立ち寄りいただけているようです。
ほかに、地元黒棒本舗の「えんどう豆かりんとう」がイチ押しです。
サクサクとした食感と、ノンフライで軽い仕上がりのお菓子です。
よく「えんどう豆がまるごと?」と聞かれますが、ペースト状のえんどう豆を練りこんであるんです。
黒糖に負けず、えんどう豆の風味をしっかりと感じるができますよ。

坂本 確かに知らないで、えんどう豆がまるごと入っていると思うかもしれませんね。
他にPRしたいことなどありましたらお願いします。

古賀 コロナ禍で、なかなかイベントを開催しづらいところですが、
地場産くるめでは毎月11日を「いい日地場産の日」として、
特別販売会や割引販売などを行っています。
地元事業者さんが店舗に出向き、直接PRをしながらの対面販売もあります。
東合川店の1階では、毎年3月に「久留米餅まつり 藍・愛・で逢いフェスティバル」を開催しています。
久留米餅をこよなく愛する方、興味のある方はもちろん、新しいファン層も大歓迎です。
ご家族そろってお越しください。
新型コロナウイルスの流行によっては予定が変わるかもしれませんので、
ホームページなどでご確認いただければ幸いです。

坂本 コロナ禍でイベント開催は大変ですよ。
ファンの皆さんのためにも、無事開催できるようお祈りしています。

古賀 地場産品をご愛用いただくことで地元事業者支援になり、
ひいては地域の文化とか伝統や歴史を守ることに繋がっていきます。
坂本さんは今まで以上に、リスナーのみなさんも地場産くるめと一緒にあって、
取組んでいただけたら嬉しいです。
どうぞよろしく願いいたします。

坂本 分かりました。古賀さんもふるさとの元気を届ける地場産品の発信拠点として、
これからもPRしていただきたいと期待しています。
4回にわたって興味深いお話をありがとうございました。
来月からは、『三潞地域の魅力』をテーマにお送りします。お楽しみに。